

創立 50 周年

桜台小だより

<http://www.sagamihara-sakuradai-e.ed.jp/>



〒252-0321

相模原市南区相模台7-7-1

TEL 042-742-3674

FAX 042-741-7991

学校長 遠藤 洋子

令和元年 6月28日

私もあなたも大切なひとり



梅雨時は、じめじめとした雨とどんよりした空気で気分が重くなりがちですが、雨に濡れて色鮮やかに咲くあじさいは、心をほっとさせてくれます。この時期だからこそ楽しめるもののひとつです。

子供たちは、朝の出会いから元気いっぱいです。梅雨の合間をぬっては、校庭に飛び出し、汗を流して遊んでいます。桜台小学校は、校庭に出るまでにちょっとした階段や段差があるのですが、子供は上手にそれをクリアして校庭に出ていきます。小学校にはあまりない松の木の前には、大きな岩がありますが、その岩がお気に入りだという子供もいて、その周りで楽しそうに遊んでいます。この岩は、学校自慢の一つだそうです。休み時間に決まって一輪車に乗っている子供からは、「校長先生、校庭一周できるんだよ」などと嬉しい報告を受けることもあります。教室や廊下で出会うと笑顔で挨拶をしてくれます。桜台小学校には、明るく、心やさしい子供がたくさんいます。

先日の朝会では、「いのち」の話をしました。「いのちのまつり」(作者：草場一寿)の本を読みながら、自分の命は、両親、祖父母、祖父母の両親というように、ずっと繋がってきた命であり、将来も繋がり続ける大切な命であること、それは自分だけでなく誰もがそうであること、一人一人がかげがえのない存在であることを話しました。1年生は1年生なりに、6年生は6年生なりに、学年に応じた捉え方をし、「いのち」について考えたり、自分も自分以外の人も誰もが大切な存在であることに気づいてくれたりしたらよいと思います。機会がありましたら、ご家庭でも話題にしていただけると幸いです。

今後も、保護者の皆様や地域の皆様との連携を図りながら、自分を大切に、相手も大切に考えられる「心豊かな思いやりのある子」の育成に努めていきたいと考えています。

夏休みならではの体験を

あと21日で、子供たちが楽しみにしている夏休みが始まります。夏休みは十分時間がとれますので、旅行に出かけたり、遠くの親戚の人に会ったりするにはよい機会です。また、そればかりでなく、ものを作る、課題について調べる、料理をする、動植物を育てる、思いきり遊ぶ等、日常の中でもいろいろな体験ができます。何か一つでも目標を決め、その達成のために試行錯誤を繰り返しながら課題解決を図っていくことは、新しい発見に驚いたり、知的好奇心を高めたり、成就感を味わったりすることができる貴重な体験となるはずです。そして、このような様々な体験を重ねていくことは、考える力や判断力を培い、感性を豊かにしていきます。すなわち、今の教育に求められている「生きる力」を育むことになります。

日頃、子供との時間がなかなかとれないというご家庭も多いと思います。この夏休みは、ぜひ時間をつくって、子供と一緒に体験し、団らんを深めて下さい。